

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者会 各位

## 新緑とともに楽しむ、大正時代の数寄屋

三溪園 新緑の古建築公開 一横浜市指定有形文化財 白雲邸

三溪園の第一の魅力は、季節ごとにさまざまな表情を見せる自然のなかで、各所に点在する歴史的建造物が楽しめるところにあります。

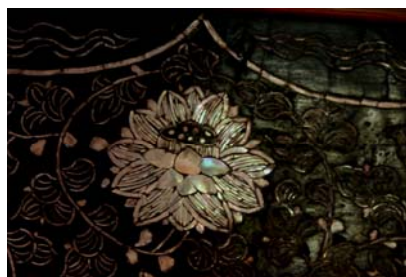
日本の建築の特徴は建物が外の自然に向けて開放的であることで、日本人が古来培ってきた“自然との共生”という生活観が反映されたものであるといえます。

今回公開される数寄屋造りの白雲邸は、数々の銘木を多用しながらもその内部は実に簡素。それだけに広い開口部から眺められるこの時季の新緑が鮮やかに映ります。さらに邸内の座敷棟からは三重塔の贅沢な眺めも楽しめます。

期間中には、内苑・聴秋閣奥に広がる渓谷遊歩道も開放するほかお囃子や茶会、自然観察会、ワークショップなども予定しています。



接客用に使われた白雲邸の談話室。伝統的な数寄屋造りとしながらも、テーブルとイスの使用を前提とした、天井高のある洋間風のスタイルが特徴。白雲邸には、このほかにも随所に近代的な設備や意匠が見られる。



白雲邸・奥書院にある地袋戸の螺鈿の意匠。奥書院は、夫人のための部屋といわれ、装飾性を抑えた白雲邸の中で女性らしい華やかな意匠が凝らされている。



内苑・聴秋閣(重要文化財)奥に広がる渓谷遊歩道の中腹からは、三重塔の絶景が眺められる。



国指定名勝 **三溪園**  
**記者発表資料**

期間：2014年4月28日(月)～5月6日(火・祝)

時間：9:00～16:45(入場は16:30)

料金：入園料のみ

■白雲邸について

三溪と同郷の岐阜出身の木工・山田源市による建造で、玄関棟と座敷棟を談話室棟がつなぐ平面構成。夫人のための部屋といわれる奥書院には各種の銘木や螺鈿、七宝の引手金具、金銀の箔を散らした小襖などに凝った意匠がみられるものの、全体的には装飾が抑えられ、三溪の好みが反映された建物といえる。また、併設の倉は、母屋建造の翌年・大正10(1921)年の完成で、1階が調理室、2・3階が美術品等の収蔵庫、地階が食料等の保存庫として使用された。当時個人の住宅では珍しい鉄筋コンクリート造で、これにより美術品は関東大震災の被害を免れた。

■ゴールデンウィーク期間中ののもよし

●聴秋閣奥新緑の遊歩道公開

日時：4月28日(月)～5月6日(火・祝)9:00-16:30

観覧：無料 ※入園料が別に必要です。

●クイズで学ぶ「三溪園、原富太郎と横浜」(原三溪市民研究会)

三溪園を造っただけでなく、社会のさまざまな面で活躍し、業績をのこした原三溪のことなどをクイズに答えて、学びます。参加者には記念品を進呈します。(先着3,000名)

日時：4月28日(月)～5月4日(日・祝)10:00-15:30

会場：三溪記念館 ロビー

対象：小・中学生中心

参加：無料 ※入園料が別に必要です。

●お囃子 横浜市指定無形民俗文化財「関古式囃子」(関古式囃子保存会)

日時：4月29日(火・祝)10:00- / 11:00- / 13:00- / 14:00- 各回約20分

会場：臨春閣前・芝生

観覧：無料 ※入園料が別に必要です。

●自然観察会(三溪園ボランティア)

日時：4月29日(火・祝)・5月4日(日・祝) 各日 10:30-11:30 / 13:30-14:30

集合：正門入口

定員：各回30名

料金：無料 ※入園料が別に必要です。

●和カフェー 日庵 いちじつあん(三溪園ボランティア)

公開中の白雲邸内に設けます。三重塔を眺めながら気軽にお茶が味わえます。

日時：4月29日(火・祝) 11:00-12:30 / 13:00-14:30-

会場：白雲邸 廊下

メニュー：抹茶のみ(菓子つき)

料金：¥500 ※入園料が別に必要です。

数量：午前・午後とも各50名分(先着順) ※お点前はつきません。

●こどもの日企画ワークショップ かぶとを作ろう!(三溪園ボランティア)

日時：5月5日(月・祝) 10:30-12:00 / 13:00-15:00

会場：旧矢筈原家住宅(合掌造り)

参加：無料 ※入園料が別に必要です。

定員：100名(先着順)

※会場では、端午の節句にちなむ軒菖蒲や五月人形の飾りつけもあります。

●新緑の一日庵 いちじつあん 茶会(三溪園ボランティア)

日時：5月6日(火・祝) 10:30- / 11:00- / 11:30- / 12:00- / 13:00- / 13:30- / 14:00- / 14:30-

会場：重要文化財 月華殿(茶席)、金毛窟(にじり口入室体験)

定員：各回20名(先着順)

参加：¥500(菓子つき) ※入園料が別に必要です。※茶券は、10:00から茶席入口で販売。

三溪園の施設案内

《所在地》三溪園 横浜市中区本牧三之谷 58-1

《交通アクセス》

●JR 根岸線根岸駅から市営バスで10分、「本牧」バス停下車、徒歩10分

●横浜駅東口から市営バスで35分、「本牧三溪園前」下車、徒歩5分

●桜木町駅から市営バスで25分、「本牧三溪園前」下車、徒歩5分

●みなとみらい線元町中華街駅4番出口から市営バス(「山下町・タワー入口」)で15分、「本牧三溪園前」下車、徒歩5分

お問合せ： 三溪園 事業課 吉川、中島

〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷 58-1

TEL045-621-0634 / FAX045-621-6343

<http://www.sankeien.or.jp>